

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月	① 読みやすく速く書くための行書			
5月	点画の省略 (教科書 P66-69) ◎漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)、(1)ウ]	毛筆 3	1 楷書と行書で書かれた「積雲」を比較して、点画が省略されている部分を鉛筆で囲み、点画が省略される理由を話し合う。 2 「学びのカギ」を見て、点画が省略される理由と、主な省略のしかたを確かめる。 3 点画の省略を意識して、毛筆で「積雲」を書く。 4 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「積雲」「調和」「林間」を書く。	【知】漢字の行書の書き方(点画の省略)を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】毛筆で「積雲」を書くなかで、行書の書き方<点画の省略>を確かめている。 【態】進んで①行書の書き方(点画の省略)を理解し③、学習課題に沿って②「積雲」を書こうとしている④。
6月 7月	筆順の変化 (教科書 P70-73) ◎漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)、(1)ウ]	毛筆 3	1 楷書と行書で書かれた「紅」「花」「取」を比較して、筆順が変化している部分を鉛筆で囲み、筆順が変化する理由を話し合う。 2 「学びのカギ」を見て、筆順が変化する理由と、主な変化のしかたを確かめる。 3 筆順の変化を意識して、毛筆で「紅花」を書く。 4 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「紅花」「聴取」「若菜」を書く。	【知】漢字の行書の書き方(筆順の変化)を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】毛筆で「紅花」を書くなかで、行書の書き方<筆順の変化>を確かめている。 【態】進んで①行書の書き方(筆順の変化)を理解し③、学習課題に沿って②「紅花」を書こうとしている④。
	行書に調和する仮名(いろは歌) (教科書 P74-75) ◎行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ア、ウ(ア)]	毛筆 3	1 P44の「楷書に調和する仮名」とP74「行書に調和する仮名」を比較して違いを見つけ、話し合う。 2 「学びのカギ」を見て、行書に調和した仮名に表れる点画の特徴を理解する。 3 行書に調和した仮名の特徴を意識して、小筆で「いろは歌」を書く。	【知】行書に調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】小筆で「いろは歌」を書くなかで、行書に調和した仮名の書き方を確かめている。 【態】進んで①行書に調和した仮名の書き方を理解し③、学習課題に沿って②「いろは歌」を書こうとしている④。
9月	行書と仮名の調和 (教科書 P76-77) ◎漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)、(1)ウ、A(1)オ、(2)イ]	毛筆 3	1 P76を見て、「豊かな森」の行書に調和する仮名として適切な書き方を選び、その理由を話し合う。 2 「学びのカギ」を見て、行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを確かめる。 3 行書と仮名の調和を意識して、毛筆で「豊かな森」を書く。 4 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「豊かな森」を書く。	【知】漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。 【思】毛筆で「豊かな森」を書くなかで、行書に仮名を調和させるための書き方を確かめている。 【態】進んで①行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し③、学習課題に沿って②「豊かな森」を書こうとしている④。
10月 11月	② 文字を使い分ける			
	楷書と行書の使い分け (教科書 P78-79) ◎目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書くことができる。[知技(3)ウ(イ)、(1)ウ、A(1)オ、(2)イ]	硬・毛 2	1 教科書 P78 の場面では、それぞれ楷書と行書のどちらで書くことが適しているかを考える。 2 教科書 P79 を見ながら、1で考えた理由をグループで話し合う。 3 「学びのカギ」を見て、相手や目的に応じて楷書と行書を使い分ける必要があることを理解する。 4 場面を選んで、楷書か行書で自分の名前を書く。	【知】目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。 【思】場面を選んで自分の名前を書く活動のなかで、目的や必要に応じて書体を選択して書くことの必要性を確かめている。 【態】進んで①書体を選択して書く必要性を理解し③、学習課題に沿って②適切な書体を選んで書こうとしている④。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	<p>【国語・学校生活】行書を活用しよう (教科書 P80-81)</p> <p>◎漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)ウ(ア)・(イ)、(1)ウ、B(1)全]</p>	適宜	<p>1 教科書 P80-81 の作例を見て、学校生活や日常生活の中で、書写で学んだ行書に関する知識・技能を生かせる場面を知る。</p> <p>2 作りたいものに合った筆記具を選ぶ。</p> <p>3 読みやすく速く書くことができ、スピード感や勢いのある行書のよさを生かして、行書とそれに調和した仮名で、応援旗やめくりなどを書く。</p>	<p>【知】漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。</p> <p>【思】行書で応援旗やめくりなどを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p> <p>【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)応援旗やめくりなどを書こうとしている(④)。</p>
12月	<p>【コラム】全国フォント見つけ隊 (教科書 P82-83)</p> <p>◎全国にはその地域に関連したさまざまなフォントがあることを理解し、身近な文字への関心を高めることができる。[知技(3)ウ(イ)、A(1)オ、(2)イ]</p>	硬・毛 1	<p>1 教科書 P82 の写真の街並みに合うフォントを選び、その理由をグループで話し合う。</p> <p>2 活字の書体をデザインするフォントデザイナーのメッセージを読んで、文字に対する考え方を理解する。</p> <p>3 全国にはその地域に関連したさまざまなフォントがあることを理解し、身近な文字への関心を高める。</p>	<p>【知】全国にはその地域に関連したさまざまなフォントがあることを理解している。</p> <p>【態】進んで(①)全国にはさまざまなフォントがあることを理解し(③)、学習の見通しをもって(②)、写真の街並みに合うフォントを選んだり、理解したことや感じたことを交流したりしようとしている(④)。</p>
1月 2月 3月	<p>【国語】季節のしおり② (教科書 P84-85)</p> <p>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア、ウ(ア)、(1)ウ]</p>	硬筆 1	<p>1 季節の言葉(枕草子)を音読して味わう。</p> <p>2 これまでに学習したこと(行書の特徴/行書に調和する仮名/行書と仮名の調和/文字の大きさと配列)に注意して、行書とそれに調和した仮名で季節の言葉を硬筆でなぞる。</p>	<p>【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p> <p>【思】季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p> <p>【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。</p>
	<p>【国語】職業ガイドを作ろう (教科書 P86)</p> <p>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ウ(イ)、(1)ウ、B(1)全]</p>	適宜	<p>1 興味のある職業について調べる。</p> <p>2 職業ガイドの新聞の内容・紙面構成を考える。</p> <p>3 これまでに学習したこと(漢字の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列/行書の特徴/行書に調和する仮名/行書と仮名の調和)に注意して、職業ガイドの新聞を制作する。</p>	<p>【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p> <p>【思】職業ガイドの新聞を作る活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p> <p>【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)職業ガイドの新聞を作ろうとしている(④)。</p>